

# もみじ

— 広島県山岳連盟会報 —



一般社団法人 広島県山岳連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

## 日韓交流報告

### 大邱訪問によるスポーツクライミング交流

十数年来、広島県山岳連盟と交流を深めてきた、車在祐(チャー・ジェウ)氏(大邱山岳連盟元会長)、李英哲(イ・ヨン Chol)氏(元副会長)からの招待を受け、UM's Human 財団主催の全国青少年スポーツクライミング大会へ出場するとともに、選手の交流を実施した。

#### < 訪 問 者 >

監督：錦織宏美 選手：錦織美里、岡崎遥、千原悠

#### < 訪問スケジュール >

6/23：大邱到着後、大会会場(大邱クライミングセンター)を視察、歴史博物館にて歴史に触れ市内のジムで練習(CERO に訪問したことのある韓国の学生 1 名と交流)

6・24：大邱クライミングセンターでリード大会(予選 フラッシュ 2 本、決勝オンサイト) 初等部男子・女子(低)はドロップロープ 初等部男子・女子、初等部男子・女子(高)・中等部男子女子、高等部男子女子はリード \*学校制度は若干違いが概ね、小学校低学年・高学年、中学生、高校生ようです。

大会後、食事会

6・25:大邱クライミングセンターで合同練習(スピードクライミングの体験も実施)

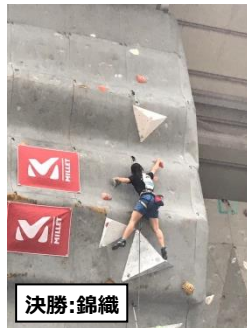
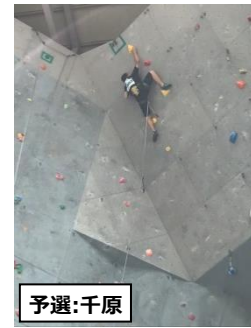
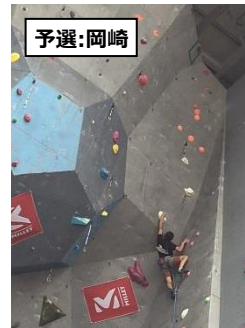
(大邱クライミングセンター)



(大邱クライミングセンター)

- ①サッカーワールドカップスタジアム整備に合わせて作られた施設
- ②高さ 17m の立派な施設(登攀高度で行くと 20m 弱)
- ③リードウォールに向かって右側にスピードウォールが 2 面あり
- ④リードウォールの裏にアップウォール
- ⑤利用料は 2,000 ウオン程度

(競技の様子)



岡崎：予選 1 本目は終了点タッチでフォール  
2 本目はタイムオーバー

千原：予選 1 本目は完登  
2 本目はタイムオーバー

錦織：予選 2 本とも完登で決勝へ  
決勝は終了点の 2 手前タッチでフォール

予選競技は 4 分で 17m を登りきるには、スピード感を持ってテンポよく登りきる必要があり、選手には良い経験となった。

決勝競技は 6 分であったが、最も傾斜のあるルートで登攀高度は 20m 弱あり、やはりテンポよく登る必要があった。大会規模的には JOC 大会クラス。9 ルートで予選を進行し、決勝ルートセット込みで 1 日出終了するハードスケジュール

## 交流の様子と感想



また、今後もスーツクライミングによる交流を望んでいるようで、機会があれば、又声を駆けるとの事であった。

## 第4回クライミングスクール研修報告

受講生：松本正和

日 時：7月2日 (日)

場 所：三倉岳 源助二峰

梅雨真っ只中の7月の三倉岳でのクライミングスクールは何とか天候にも恵まれ、「源助崩 Ⅱ峰」で、「アーナダ (5.8)」、「十六夜 (5.8)」、「白日夢 (5.9)」を登りました。

これらのルートにはボルトは打たれておらず、クラックにカムを固定させて登ります。カムを使用するルートはボルトのルートと違って、どの場所にどの種類のカムを使用するかは人それぞれで、登り方の違いが顕著に現れます。また、怖いからといってカムを使用しすぎでは途中で使いたいカムが無いという状況に陥ってしまうため、終了点までに使用するカムを想定しながら登らなければならず、頭を使わないといけません。これらを今日経験したことで、カムを使用するルートの面白さを実感することができました。

その後、懸垂下降 (ラッペル) の指導を受けましたが、基本的なものに加え、下が不明瞭な状態ではスリング (スネイク) を使用してフリクションを掛けながら下降する方法、時間的に余裕がない状態では1本のロープを使用してカラビナでフリクションを掛けながら下降する方法、異なる2本のロープを結合させて下降する場合はロープの結び目は岩側にした方が回収し易いなど、複数の方法や知識を教えていただきました。これらはすぐに使用する機会はないとは思いますが、このような知識の引き出しをできるだけ多く持ち、いざという時に使用できるようになりたいと思います。

今回でスクールの前期分が終了しましたが、9月か

## 錦織美里

言葉は違っても、同じクライマー同志たくさん交流することができ、とても良い経験になりました。

## 岡崎 遥

楽しく経験が出来たので、ワールドカップに頑張りたいです！

## 千原 悠

韓国の歴史や文化を目の当たりにできるとともに、クライミングを通じて選手同志の交流を図ることができました。

## 錦織宏美

初めて海外選手と接する岡崎遥と千原悠は、最初は戸惑いおとなしかったが、韓国の選手が積極的に話しかけてきたことで、次第に打ち解け交流していた。世界ユース出場経験もある錦織美里は、韓国入り初日からイ・ヨン Chol 山谷チェさんの話にも積極的に受け答えし、大会では顔見知りの選手とも交流していた。3人ともこの貴重な経験をもとに、大きく成長してくれることを期待する。



らもできるだけ参加して様々な知識や技術を身に付けたいと思います。御指導ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 記 録

### 広島県・韓国大邱広域市高校登山

#### 部交流登山への協力依頼について

大邱広域市高校学生山岳連盟（高校登山部）とは、広島県山岳連盟・広島県高体連登山部であげて、2000(平成 12)年度より実施してきました。今年 4 年ぶりに別紙実施要項のように、7 月 27 日 (木) から 7 月 31 日 (月) の 5 日間、広島県の自然の中で交流登山を実施することになりました。

次代を担う高校生が、登山を通じて国際交流を深めていくことは、大変意義のある事業と考えています。つきましてはご多忙とは存じますが何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。

#### 国際部からご案内 韓国の若き岳人と交流しよう！

大邱市高校学生山岳連盟（総勢 約 40 名 生徒と引率役員）が日本の広島県の山を訪れます。広島県山岳連盟として総力をあげて歓迎しましょう。

広島県山岳連盟は比婆山国際スカイランにおいて長年大韓山岳連盟と交流してきました。また 1999 年秋より韓国地方岳連の大邱広域市山岳連盟と交流を始め、相互訪問を繰り返しています。今年が 19 年目となります。交流の一つの柱として、自然を愛する若者の交流を重視しています。2013 年に来日されてから諸般の事情で実施できていませんでした。広島県の若者や岳人と広島市の姉妹都市である韓国大邱広域市の高校生が同じ岳人の卵として交流することは、実に有意義で素敵なことです。お隣の韓国の姉妹都市大邱に山の友人ができるのです。本当に素晴らしいことです。そこで皆様にはお願いがあります。高校生の交流登山に色々な面から支援してください。つい先日の 6/24、大邱市で開催されたクライミングの大会にも広島県の若者が招待され交流してきました。

- (1) 下記日程にご参加ください。スタッフとしてお手伝い。一緒に登山やキャンプ、交流。差し入れ提供。どんな形でもかまいませんので彼らと交流してください。よろしくお願いいたします。



写真提供 新山まゆみ

- 中型車の運転 三段峡・奥三段峡のガ`仆`・安全サポート キャンプ補助
- (2) 7/30 日曜日 午後 7 時、広島市文化交流会館、レストラン リバーズガーデンで歓迎会を開催します。韓国側はご招待ですので、会費 5000 円でのご参加をお願いいたします。40 人のご招待ですのでかなりの金額が必要です。カンパもお願いいたします。日本の高校生や小中学生は実費です。
- (3) 日本の物価は韓国の 2～3 倍。高校生の負担をできるだけ少なくする為に、できましたら高校生の交流にカンパをお願いいたします。また差し入れいただければ幸いです。(ジュース、スポーツドリンク、お茶、食料、スタッフ引率の先生用のビール、酒、お土産、記念品、等々何でもかまいません。)
- (4) 交流に参加 テント泊、自炊 装備食材の準備は各自です。  
テント泊の調整、団体装備の調整は事務局で行います。 国際部長 松島 宏

### 問い合わせ、連絡、申し込み先

最終締め切り 7 月 25 日 (火)

できるだけ早めに連絡下さい。

広島県山岳連盟事務局 事務局

Tel/FAX 082-296-5597

携帯電話 (担当 松島 090-4148-6504

資金援助 (カンパ) 振込先 (郵便振替)

郵便振替口座 01380-6-37958

加入者名 広島県山岳連盟

### 広島県・韓国大邱広域市高校登山部交流登山実施要項

期 日 2017 (平成 29) 年 7 月 27 日 (木) ～  
7 月 31 日 (月)

場 所 広島市・安芸太田町  
恐羅漢山 恐羅漢キャンプ場 三段峡  
奥三段峡

主 催 広島県山岳連盟、大邱広域市山岳連盟

主 管 広島県山岳連盟国際部、大邱市広域市高校生山岳連盟

目 的 若き岳人の国際交流 (高校登山部の交流)  
高体連加盟各校の登山部員の研修 高校  
間の交流と意見交換 岳連と高体連の交  
流及び技術交流

### トピックス

#### 山岳・辺境文化セミナー'17

10 月 7 日 (土) 開催予定

1993 年度から地域社会への幅広い還元活動の一環として、さらに国際化をより一層推進するために山岳・文化セミナーを開催いたしました。このセミナーは、山岳・自然活動で活躍されている方をお招きすると同時に、広島県山岳連盟の国際的活動を広く地域住民の方々へ紹介しながら、ともの山岳・辺境文化を学ぶことを基軸としてまいりました。第 25 回目を迎える今年度は、講師にジャーナリストの江本嘉伸氏をお呼びします。江本氏は、1940 (昭和 15) 年、横浜市生まれ、元読売新聞編集委員で南北両側からのエベレスト登山取材、北極、中央アジア、チベット横断、モンゴル遊牧草原取材などの取材・調査にあたられました。また、1979 年 8 月、旅や旅行好きの行動者たちのネットワーク「地平線会議」を友人たちと立ち上げ、その代表世話人を務めておられます。

日時：2017・10・7 (土) 15:00～16:30

場所：広島市西区民文化センター

主催：(一社)広島県山岳連盟

受講料：2,000 円

広島県山岳連盟加盟団体のメンバー及び個人会員は半額

### 岳連短信

1、第7回大山頂上トイレ汚泥キャリアダウン・ボランティアの募集について

鳥取県西部総合事務所長 H29・7・12



## —長野県山岳遭難防止対策協会長

本県では、平成20年から毎年「大山トイレマナーアップキャンペーン」を実施しているところであり、平成30年の伯耆国「大山開山1300年祭」をひかえ、トイレ利用のマナーアップを図るためのキャンペーンを強化し、1登山者に気持ちよくトイレを利用していただけよう、頂上トイレの汚泥を人力で担ぎ下ろす作業を4年ぶりに実施することとし、下記のとおりボランティアを募集します。

つきましては、本キャンペーンの主旨を御理解のうえ、ボランティアに御協力いただくとともに、関係者に広く周知していただきますようお願いいたします。

なお、西部総合事務所生活環境局のホームページに、同内容と募集ちらしを掲載しておりますので、御活用ください。(ホームページアドレス <http://www.pref.tottori.lg.jp/daisen-carryd6w11>)

## 記

## 1 概要

2リットルのボトルに詰め替えたトイレの汚泥を、大山頂上からふもとまで運搬する作業。

## 2 実施日

平成29年9月10日(日)(※小雨決行)

## 3 募集期間

平成29年7月14日(金)午前9時から8月15日(火)午後5時まで

## 4 募集人数

200人(先着)

## 5 申込方法

住所、氏名、電話番号を下記申込先に電話、ファクシミリまたはEメールでお知らせください。

## 6 申込。問合せ先

〒6830054 米子市糶町1丁目160

鳥取県西部総合事務所 生活環境局 生活安全課

電話 0859-31-9320 ファクシミリ 0859-31-9333

Eメールアドレス

[seibuseikatsukankyo@pref.tottori.lg.jp](mailto:seibuseikatsukankyo@pref.tottori.lg.jp)

(担当 動物・自然公園担当 小谷、田村)。

## 2、「平成29年夏山情報」の送付について

本県における山岳遭難防止対策活動につきましては、日ごろから格別のご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

長野県内で発生した遭難件数は、平成29年7月2日現在117件、遭難者137人で、前年比で遭難件数は23件の増加、遭難者は25人の増加となっており、極めて憂慮すべき事態が続いております。

つきましては、本格的な夏山シーズンを迎えるに当たり、本県の夏の山岳の注意情報等を掲載した「夏山情報」を別添のとおり送付しますので、これらをご活用いただき、登山者の皆様に確実な事前準備と無理のない安全登山等について、例年以上に呼びかけていただきますようご協力をお願いします。

なお、長野県内の山岳情報については、長野県警察本部のホームページに詳細が記載されていますのでご参照ください。

## 【山岳情報ホームページアドレス】

<http://www.tpreinagano.lg.jp/police/sangaku/index.html>

[lg.jp/police/sangaku/index.html](http://www.tpreinagano.lg.jp/police/sangaku/index.html)

今後とも安全・安心な登山のための取り組みにご協力いただきますよう、よろしく申し上げます。

長野県山岳遭難防止対策協会

事務局:〒380 - 8570

長野県大字南長野字幅下692 - 2

長野県観光部山岳高原観光課

丸山賢治(課長)野口昌克(担当)

TEL:026 - 23517251(雇1:巨)FAX:026 - 235-7257

E - lnail:sangakuC@reinagano.lg.jp

## 3、夏山の遭難事故対策

例年、登山者が増加する夏山シーズンには遭難事故も増加します。

とりわけ、遭難者に占める中高年登山者の割合は7～8割と高く、転・滑落、道迷い、転倒などの事故が多発しています。

転倒事故では、「つまづき」や「スリップ」といった些細なミスが原因となって、骨折等の重傷を負うケースが目立っています。山の中で大きな怪我をしてしま

うと、自力での下山は難しくなります。最後まで笑顔で登山を続けるために、一步一步慎重に歩きましょう。

また、夏山の天気は午後から崩れやすい傾向にあるので、「早発ち、早着き」が基本です。夕立が降る前に目的地に着いて、ゆっくり体を休めながら翌日のルートを再確認しましょう。余裕のある行動は、夏山の楽しさと安全性を倍増させます。

皆さんの夏山登山が良い思い出になるように、次のことに留意してください。

### 夏山を楽しむために転倒、道迷い、体調管理に要注意

平成29年7月山岳遭難対策中央協議会

夏山登山の警告文

#### ○ 入念な登山計画を立てましょう

登山は計画する段階から始まっています。対象山域の最新情報（山岳情報、気象情報、火山情報等）を入手し、入山中に考えられるリスク回避の対策を前もって立てるようにしましょう。

#### ○ 次の一步に集中しましょう

登山では、たった一步の踏み間違いで大怪我をすることがあります。慎重に歩いて、自分の足で帰りましょう。

#### ○ 道に迷わないように用具を活用しましょう

地形図やガイドブックで登山コースを勉強しましょう。コンパスやGPS等の用具も積極的に活用して道迷いを防いでください。

#### ○ 水分をたくさんとりましょう

リュックを軽くするために飲み物を減らすのは絶対にやめてください。水分不足は熱中症や高山病のリスクを高めます。水分補給の目安は、次の式を参考にしてください。

### 平成 29 年 8 月 事業計画

8・3 (木) 登山教室①②⑤ (三篠公民館)

8・9 (水) 運営会議⑤

8・11 (金・祝) 第 2 回山の日記念全国大会 (那須)

8・18 (金) ~ 20 (日) 国体中国ブロック予選 (cero)

8・16 (水) CBL への講師派遣 (県立体育館)

8・19 {土} ~ 20 (日) 登山教室②⑤ (奥三段峡)

8・20 (日) 岳連例会山行⑤ (奥三段峡)

8・26 (土) ~ 27 (日) 自然保護研修会

### 山の風景 7 7

深入山 2016・11・07

写真提供 森 智昭 (ひこばえ)



### 編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせください。

題字デザイン 今村みずほ

編集 仲井正美